

別紙様式第3号-1

令和2年度 消費・安全対策交付金（食料安全保障確立対策推進交付金） 都道府県等成果及び評価報告書（令和元年度補正予算繰越分）（令和3年8月作成）

都道府県等名：広島県

目的	目標	目標値			事業実施主体ごとの達成度			交付金相当額 (円) (うち地域提案メニュー)	備考
		目標値	実績	達成度	事業実施主体	目標	達成度		
II 伝染性疾病 ・病害虫の 発生予防・ まん延防止	家畜衛生の推進 (特別交付型)	CSF及びASFのまん延防止	CSF及び ASFのまん延防止	達成	広島県	CSF及び ASFのまん延 防止	達成	1,716,000	
					<地区推進事業> (一社) 広島県畜 産協会	CSF及び ASFのまん延 防止	達成	3,685,000	
総計・総合達成度				総合達成度 達成 総合評価 適正		達成	5,401,000		

国による評価の概要

総合達成度は「達成」であり、総合評価「適正」は妥当と判断する。なお、事業は適切に実施されたと評価する。

別紙様式第2号-3

目標 家畜衛生の推進（特別交付型交付金）					
事業実施期間 令和2年度			都道府県等名 広島県		
事業の実施方法					
<p>●事業内容</p> <p>国内における豚熱（CSF）及び近隣諸国におけるアフリカ豚熱（ASF）の発生が継続して確認されており、県内の養豚施設への当該疾病の侵入防止対策が必要であることから、「家畜衛生の推進」の目標値を達成するために、以下の取組を行った。</p> <p>（3）家畜衛生対策による生産性向上の推進（事業実施主体：広島県） 国内線靴底消毒マットの設置、野生動物清浄性確認検査の実施</p> <p>（5）家畜衛生の推進に係る関連機器の整備（事業実施主体：広島県） 豚熱（CSF）及びアフリカ豚熱（ASF）の検査に係る機器の整備</p> <p>（9）農場バイオセキュリティの向上（事業実施主体：一般社団法人広島県畜産協会） 地域協議会の開催、野生動物の侵入防止対策、消毒等のバイオセキュリティ対策</p> <p>●目標値の考え方</p> <p>国内における豚熱（CSF）及び近隣諸国におけるアフリカ豚熱（ASF）の発生が継続して確認されており、当該疾病の県内養豚施設への侵入防止対策が必要である。</p> <p>●目標値</p> <p>CSF 及び ASF のまん延防止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 CSF 及び ASF の発生件数（令和元年度） 0件</li> <li>・事業実施後 CSF 及び ASF の発生件数（令和2年度） 0件</li> </ul>					
目標値					
項目	現状	目標値	実績	達成度	評価
家畜の伝染性疾患のまん延防止	-	CSF 及び ASF のまん延防止	CSF 及び ASF のまん延防止	達成	適正
<地区推進事業>					

事業内容及び実績額				
事業内容	規格・規模等	所要額実績 (円)	左の交付金 相当額 (円)	交付率 (%)
(3) 家畜衛生対策による生産性向上の推進	国内線靴底消毒マットの設置	411,840	205,500	49
	野生動物清浄性確認検査の実施 (検査費)	260,461	129,500	49
	(検査促進費)	30,000	30,000	100
(5) 家畜衛生の推進に係る関連機器の整備	CSF 及び ASF の検査に係る機器の整備	2,702,700	1,351,000	49
<地区推進事業>				
(一社) 広島県畜産協会	地域協議会の開催、野生動物の			
(9) 農場バイオセキュリティの向上	侵入防疫対策、消毒等のバイオセキュリティ対策	8,103,262	3,685,000	45
(計)		11,508,263	5,401,000	

事業の成果
●実施状況
(3) 家畜衛生対策による生産性向上の推進（事業実施主体：広島県） 広島空港国内線出口に靴底消毒マットを設置することで、海外から他県の空港を経由して本県へ入場する旅客を介した ASF の侵入を防止することができた。 また、野生いのししにおける豚熱及びアフリカ豚熱の汚染状況を検証した結果、清浄性を確保できていることを確認できた。（検証した頭数 5 頭） 捕獲した野生いのしし 5 頭 全頭陰性
(5) 家畜衛生の推進に係る関連機器の整備（事業実施主体：広島県） 豚熱及びアフリカ豚熱用の検査機器を整備することで、交差汚染が防止できる体制を確保した。 購入機器（冷却遠心機 1 台、冷凍冷蔵庫 1 台、超低温フリーザー 1 台、オートクレーブ（高圧蒸気滅菌器） 1 台）

(9) 農場バイオセキュリティの向上（事業実施主体：一般社団法人広島県畜産協会）  
 9月に開催した地域協議会の結果を踏まえ、事業に参加した13農場に対し、次のとおり必要な各種防疫資材を整備し、農場バイオセキュリティの向上の取組を推進することができた。

- ・動力噴霧機：2農場（総整備数：2台）
- ・立入禁止看板：6農場（総整備数：13枚）
- ・防鳥ネット：11農場（総整備数：22,788.82㎡）
- ・電気防護柵：2農場（総整備数：3台, 1,222.41m）

●成果

豚熱及びアフリカ豚熱のまん延防止

・事業実施後 CSF 及び ASF の発生件数（令和2年度） 0件

都道府県等の評価の概要

人流を介した感染地域の拡大や養豚施設へのまん延を防止するため、水際対策の強化として、広島空港における靴底消毒を実施することで、県内へのCSF及びASFの侵入を防止する効果があった。

また、病性鑑定における豚及び野生いのししの交差汚染を防止するため、専用の検査機器を整備することで、病性鑑定を適切に実施することが可能となった。

以上の取組を実施した結果、本県においてCSF・ASFの発生は認められず、CSF・ASFのまん延防止を達成することができた。

なお、ASFはアジア周辺国において、CSFは国内で未だに発生が認められることから、引き続き、本県養豚施設へのCSF・ASFの侵入を防止するための対策を継続するとともに、豚及び野生いのししの検査を適切に実施していきたい。

専門家の意見（公益社団法人広島県獣医師会 山根由樹）

いずれの取組も適切に実施し、十分な成果を上げている。引き続き対策の継続と強化に取組んでいただきたい。

第三者の主なコメント

広島県農業関係施策検討会議  
 （第三者会議）

事業を適切に実施している。

国による評価の概要

目標値は達成されており、CSF・ASFのまん延防止に係る事業は適切に実施されたと評価する。

今後も、CSF・ASFの侵入を防止するための水際対策や、飼養衛生管理基準に基づく飼養衛生管理指導等の継続的な実施により、農場の衛生レベル向上や維持に取り組まれることを期待する。